

第48回 全国高等学校美術、工芸教育研究会 高知大会

『 題材名 樹脂を使ったアクセサリーをつくる 』

学校名 私立 明德義塾中学校・高等学校
教員名 西田紀彦

学校の特長

中高一貫6年制の共学全寮制学校(一部通学)。そのため高校1年～3年をそれぞれ4・5・6年生と呼ぶ。特進コース、英語コース、中国語コース、総合コース、日本語コース(留学生)があり、国際色豊かな学校である。

美術の授業は、義務教育である中学1～3年で行われ、高校生は現在、5年総合コースのみ行われている。美術教員は1名、美術教室は共通の為、美術においては特に中学校と高等学校の授業における大きな違いは無く、3年プラス1で年間計画を組んでいる。その為基礎となる中学の授業には特に力点を置いている。

題材設定の目的 本校(中学校および高校総合コース)はスポーツに力点を置いている生徒が多く、逆に文化・芸術面に於いては興味を持たない、あるいは苦手意識を持つ生徒が多い。その為、授業の際にはまず興味を持たせる事を主眼に置いている。本題材は、制作後に自分で使うもの(特に中高生の興味が深いアクセサリー)をデザインする事で題材への関心を持たせ、制作の喜びを感じさせる事を目的としている。

授業内容
対象学年
所要時数
詳細

工芸(樹脂・金属)
中学3年生(30名)
6時間
中学3年生の3学期末に行った授業で、卒業制作として希望者のみ制作。



1 アイデアスケッチの後、下描きをする(実物大)



アイデアスケッチの上に塩ビ板を重ね、マジックでなぞり、はさみで切断する。同時に幅3センチ程度の帯を作り側面部分を用意する。それらを組み合わせて型を制作する際、樹脂の液体が漏れないように、入念にセロテープで接着する。

2 塩ビ板で型をつくり、液体樹脂を流し込む(封入用樹脂+着色料+硬化剤) ※ ネックレスにする場合は型にストローを接着しておく(紐穴用)



研磨の手順(目安)

1. 糸鋸で金属を切断
- ↓
2. 金属ヤスリで整形
- ↓
3. 耐水ペーパー(400)
- ↓
4. 耐水ペーパー(800)
- ↓
5. 耐水ペーパー(1500)
- ↓
6. 研磨剤(ピカール)

3 封入用の金属を切断、研磨する。



4 仕上がった金属を乗せ、樹脂を流し込む。



5 硬化した樹脂を荒いヤスリで成形した後、耐水ペーパー等で研磨する。



6 革紐を通して結べば完成。



研磨の手順(目安)

1. 布ペーパー(80)
- ↓
2. 耐水ペーパー(180)
- ↓
3. 耐水ペーパー(400)
- ↓
4. 耐水ペーパー(800)
- ↓
5. 耐水ペーパー(1500)
- ↓
6. 研磨剤(ピカール)

参考作品

ネックレス
ペーパー
ウエイト

制作上の 注意点

樹脂の硬化
に時間を要
するので、流
し込みをする
時間に留意
する。



まとめ

材料は比較的高価だが、
ネックレスの場合は使用する
量が少ない為、一人当たりの
材料費は安価になる。(200
～300円程度)

樹脂の扱いは基本的に全
て教員が行わなくてはなら
ないので大人数には向か
ないが、生徒は非常に興
味を持ってくれる課題
である。

生徒の主な作業は
金属と樹脂の研磨で
あるが、自分が使用
する事を前提に制作
する為、アイデアスケ
ッチから研磨に至る
までの作業全般に真
剣に取り組んでくれた。

